

J R連合N EWS ~2025春闘~

No. 10

ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善

- 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう -

2025年3月11日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合近畿地協。JR西日本連合。JR西労組

2 0 2 5 春 季 生 活 闘 争 総 決 起 集 会

JR連合近畿地協・JR西日本連合・JR西労組は3月6日、大阪市内において「2025春季生活闘争総決起集会」を開催した。今春闘最大のヤマ場を迎える中、物価高を上回る持続的な賃上げの実現を訴えて気炎を上げた。

集会には、各加盟単組から約 300 名が結集。来賓として連合大阪から芝将人事務局長、近畿交運労協から西村誠事務局長が駆けつけた。 J R連合からは石川敏也産業政策局長が参加した。

JR連合近畿地協を代表してあいさつした上村良成議長(JR連合副会長、JR西日本連合会長、JR西労組中央執行委員長)は、 実質集合が2年連続で日ばりしている場別に触れ、「物質真に合け、



上村良成議長

実質賃金が3年連続で目減りしている状況に触れ、「物価高に負けない成果を勝ち取ることが重要。働く先として選択されるかどうか、労使ともに瀬戸際の春闘であり、ONE TEAMとなって取り組んでいこう!|と参加者・加盟単組に呼びかけた。

JR連合の石川産業政策局長は、JR産業の発展には人財の確保・定着が不可欠とし、「この間の組合員の奮闘に報いる結果を勝ち取ろう」と呼びかけた。また、「今次春闘の取り組みを通じて労働組合の必要性・重要性を発信し、組織の強化・拡大につなげてほしい」と述べた。

加盟単組の決意表明では、JR東海ユニオン関西地本の奥田浩司書記長、JR西日本連合グループ単組を代表してジェイアール西日本ホテル開発労組の高見駿介書記長、JR西労組バス地本を代表して西日本JRバス地本の笹井紀幸書記長、JR西労組の杉野晴崇賃金対策部長から、それぞれ取り組み報告とあわせ、ヤマ場に向けた決意が力強く表明された。

最後は、参加者全員で「物価上昇を上回る持続的な賃上げ」を訴える集会アピール 行動で心を合わせ、上村議長の団結ガンバローで決意を固めあった。



